

# 北薩感染症情報

## 2023年第33週(8月14日～8月20日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

E-メール [kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp](mailto:kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp)

### 川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中    ○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル			注意報レベル 基準値	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値	定点報告数		前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報
		定点報告数													
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	20	28	4.00	↗	—	11	—	—	↓	—	
	COVID-19	—	—	—	96	88	12.57	↓	—	90	50	10.00	↓	—	
小児科定点	RS	—	—	—	6	8	2.00	↗	—	25	7	2.33	↓	—	
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	—	2	—	—	↓	—	3	4	1.33	↗	—	
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—	5	4	1.00	↓	—	1	4	1.33	↗	—	
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	—	4	9	2.25	↗	—	—	1	0.33	↗	—	
	水痘	2.0	1.0	1.0	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	手足口病	5.0	2.0	—	2	2	0.50	→	—	—	3	1.00	↗	—	
	伝染性紅斑	2.0	1.0	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	突発性発疹	—	—	—	4	2	0.50	↓	—	1	—	—	↓	—	
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—	4	2	0.50	↓	—	12	5	1.67	↓	—	
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	—	—	—	—	→	—	/	/	/	/	/	
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	—	1	3	3.00	↗	—	/	/	/	/	/	
差控定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
インフルエンザ 入院報告	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—		
報告数合計		—	—	—	144	146	/	↗	/	143	74	/	↓	/	
<p>&lt;注意報・警報レベル&gt;                      ・川薩保健所管内 なし                      ・出水保健所管内 なし</p> <p>&lt;全数報告&gt;                      ・川薩保健所管内 なし                      ・出水保健所管内 梅毒1例</p> <p>&lt;インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等&gt;                      ・川薩保健所管内 なし                      ・出水保健所管内 なし</p>															

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				24W	25W	26W	27W	28W	29W	30W	31W	32W	33W
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	12.29	38.14	50.71	54.57	33.29	19.43	10.14	2.71	3.00	4.00
	COVID-19	—	—	6.71	6.00	8.86	10.14	17.29	19.86	23.86	23.29	14.14	12.57
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	3.50	2.00	1.25	1.75	0.75	0.75	0.75	1.00	1.50	2.00
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	1.25	0.25	1.00	—	0.25	—	0.25	0.25	0.50	—
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	—	0.75	1.25	—	—	0.25	1.25	0.50	1.00	1.00
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	2.75	3.00	1.25	2.75	3.00	3.75	2.25	2.75	1.00	2.25
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	—	0.75	—	0.50	—	—	—	—
	手足口病	5.00/2.00	—	0.50	2.25	3.50	2.75	3.00	2.75	1.50	0.25	0.50	0.50
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	0.25	—	—	—	—	—	—	—	—
	突発性発疹	—	—	1.00	0.50	—	1.25	0.50	0.75	0.25	0.50	1.00	0.50
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	8.75	23.75	18.00	22.00	15.50	9.50	4.75	2.25	1.00	0.50
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	流行性角結膜炎	8.00/4.00	—	2.00	1.00	3.00	3.00	—	2.00	10.00	10.00	1.00	3.00
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				24W	25W	26W	27W	28W	29W	30W	31W	32W	33W
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	3.00	3.20	2.40	2.40	3.60	8.00	5.20	3.80	1.60	—
	COVID-19	—	—	7.00	5.80	3.40	10.60	21.20	24.20	34.60	26.40	13.60	10.00
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	7.67	13.67	16.67	14.33	18.67	16.33	15.67	11.67	7.00	2.33
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	1.67	1.33	0.67	0.33	1.33	0.67	0.33	0.67	0.67	1.33
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	2.67	1.33	2.00	1.00	1.67	—	—	—	0.67	1.33
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	0.33	0.33	1.67	0.33	0.67	0.33	0.33	1.67	—	0.33
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	—	—	0.33	—	0.33	—	—	—
	手足口病	5.00/2.00	—	0.67	0.33	—	0.67	1.00	0.67	1.33	—	—	1.00
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	突発性発疹	—	—	—	0.33	0.33	0.33	—	—	0.33	—	0.33	—
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	0.67	1.67	1.67	4.67	8.00	6.67	5.33	5.00	1.67	1.67
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

★第33週に関しても、お盆期間で休診の医療機関もあったにもかかわらず、報告数が増えている感染症もあります。密集した場所に足を運んだり、会食をしたりした後の数日は体調管理に特に気を付けて生活しましょう。また、熱中症に気をつけながら、普段からマスク着用や換気、手指消毒などに心がけましょう。

★新型コロナウイルスに関する参考資料  
 新型コロナウイルス感染症 「診療の手引き」  
<https://www.mhlw.go.jp/content/000936655.pdf>

新型コロナウイルス感染症 「病原体検査の指針」  
<https://www.mhlw.go.jp/content/000914399.pdf>

新型コロナウイルス感染症 「罹患後症状のマネジメント」  
<https://www.mhlw.go.jp/content/000952747.pdf>

# 中東呼吸器症候群(MERS)

《注意》 MERSが発生している中東諸国で、**患者やラクダと接触した方は、感染の可能性があるため、検疫所が最大14日間の健康監視(※)を行う場合があります。**

※健康監視とは、検疫所に毎日体温等の健康状態を報告することです。

## 【症状】

感染してから2～14日後に、呼吸器症状(発熱、咳、息切れや呼吸困難など)を引き起こします。感染しても症状が出ない場合もあります。

## 【治療】

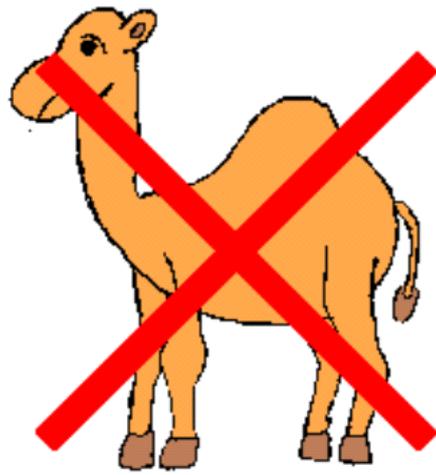
特別な治療方法やワクチンはありません。

## 【予防対策】

- ・一般的な衛生対策として手洗いをを行う。
- ・咳やくしゃみなどの症状を示している人との接触はできる限り避ける。

## 【入国時に検疫所で】

発熱や咳などの呼吸器症状がある方や、MERSが疑われる患者又はラクダと接触した可能性がある方は、必ず、検疫官にお申し出ください。



**ラクダなど、動物との接触や、殺菌されていない乳や肉の喫食を避けましょう!!**

## 【入国後症状が出たら】

入国後14日以内に、**発熱や咳などの呼吸器症状**がみられた方は、速やかに電話にて最寄りの**保健所**にご連絡ください。



【発生が報告されている中東諸国】

国立感染症研究所ホームページ

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/>

検疫所ホームページ FORTH

<http://www.forth.go.jp>

※中東呼吸器症候群(MERS)は、中東呼吸器症候群コロナウイルス(MERS-CoV)というコロナウイルスによって引き起こされる、ヒトとラクダのウイルス性呼吸器感染症です。MERS-CoVに感染すると、重症化し、死亡率が高くなります。MERS-CoVに感染した患者の死亡率は35%です。(MERS-CoVの軽症例が現在の監視システムで見逃されている可能性があるため、正しい致死率を反映していない可能性あり)

中東諸国では2023年におきましてもすでに感染者が確認されています。中東諸国に行かれる方は感染症の中でも特にMERSにご注意ください。

# 海外に行かれる方は 感染症にもご注意ください！！！！



## 海外旅行は危険...？

海外旅行中は時差や気候の違いなどから、自覚していなくても様々なストレスを受けています。この結果、免疫力が低下し、病気にかかりやすい状況になっています。

日本で流行・発生していない感染症が広がっていることもあり、一生治療を続けなければならない病気もあります。そのような感染症を国内に持ち込んでしまわないように、海外旅行中や帰国後は特に体調管理をしっかりと行い、避けられる危険を避け、楽しい旅行にしましょう。

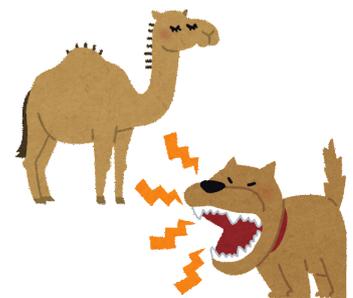
## 感染しないようにするには...？



①生水・氷・フルーツは避け、加熱されたものを食べましょう。



②無理のないスケジュールを心がけましょう。



③動物には近寄らないようにしましょう。



④麻薬や行きずりの性行為ははっきり断りましょう。

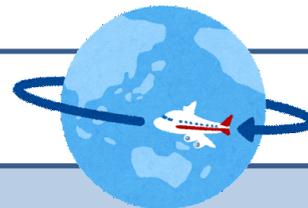


⑤服装に気をつけ、虫除けグッズを所持しましょう。



⑥マスク着用や手指消毒をしましょう。

## 心配なときはどうしたらいいの...？



### ◎空港や港の検疫官に相談

帰国時において体調に不安がある場合や動物に咬まれた、蚊に刺されたなど渡航先での出来事で健康上心配なことなど、お気軽にご相談ください。

### ◎かかりつけの病院や最寄りの医療機関に電話相談

帰宅後も大切な家族に移してしまわないよう、帰宅後も気をつけましょう。少しでも異変を感じた場合はすぐに電話で相談しましょう。その後について指示を受けてください。

# 流行性角結膜炎(はやり目)にご注意ください!!!

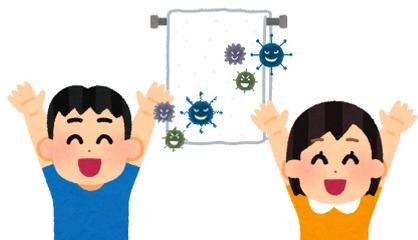
大人も多数!

## 流行性角結膜炎とは?

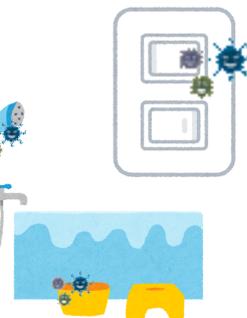
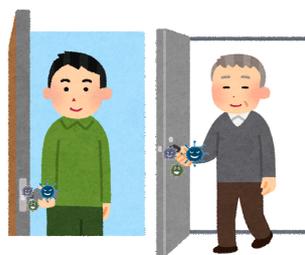
アデノウイルスというウイルスによる疾患であり、瞼が腫れたり、充血したり、涙やめやにが出たりします。夏に多く、潜伏期は8~14日です。感染力が非常に高いため、はやり目とも言われます。小児(特に1~5歳)に多い疾患ですが、成人を含む幅広い年齢層で見られます。

※潜伏期...細菌やウイルスなどの病原体が体内に侵入してから症状として現れるまでの期間

## どうやって感染するの?



①タオルの共有をする



②感染部位を触った後にもものに触れ、他者が触れる

## 感染しないようにするには...?



①ペーパータオルや個人のタオルを使う



②共有箇所のこまめな消毒と手洗いをを行う

## どんな症状が出るの? 出たらどうしたらいいの?

### ○症状○

- ・充血
- ・痛い
- ・かゆい
- ・まぶしい
- ・目がごろごろする
- ・流涙
- ・瞼が腫れる
- ・耳下腺の腫脹・圧痛
- ・白目がぶよぶよになる(むくむ)



### ○対応○

眼科に電話をし、受診しましょう。必ず、窓口で症状について伝えましょう。また、診断された場合、学校や幼稚園に電話連絡をしましょう。学校や幼稚園の場合は出席停止、職場については場合により出勤停止になりますので医師と相談の上、今後の出勤について職場と判断しましょう。

# 熱中症警戒アラートが 発生していました！



## 熱中症とは？

高温多湿なところにいると、平温を保つために汗をかき(汗の蒸発に伴って熱が奪われる(気化熱))、体内の水分や塩分(ナトリウムなど)の減少や重要臓器への血液の流れが滞ります。その結果、こむら返りや失神(脳貧血)をおこし、さらに体温調節機能がうまく働かなくなると体内に熱がこもり体温が急激に上昇します。このような状態を熱中症といいます。熱中症になる前に適切に対処しましょう。

## どんな症状がでるの？



めまい・立ちくらみ



吐き気・嘔吐

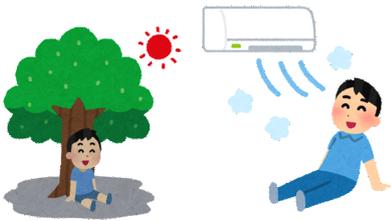


こむら返り・手足のしびれ



倦怠感・虚脱感

## 熱中症になったらどうしたらいいの？



①涼しいところへ移動する  
風通しのよい日陰やエアコンの効いている室内へ移動しましょう。



②からだを冷やす  
首周り、脇の下、足の付け根を中心に冷やしましょう。衣服を脱がせたり、緩めたりしましょう。



③水分・塩分を補給する  
経口補水液も効果あります。自力で飲めない場合は救急車を呼びましょう！

## ならないためには？

### ～屋内～

- ・扇風機やエアコンを利用する
- ・遮光カーテンやすだれ、打ち水を活用する
- ・室温やWGBTをこまめに確認する

### ～屋外～

- ・日傘や帽子を着用する
- ・日陰を歩き、こまめに休憩する
- ・天気のいい日は日中の外出を避ける

屋内や梅雨の時期も実は危険なんだよ！



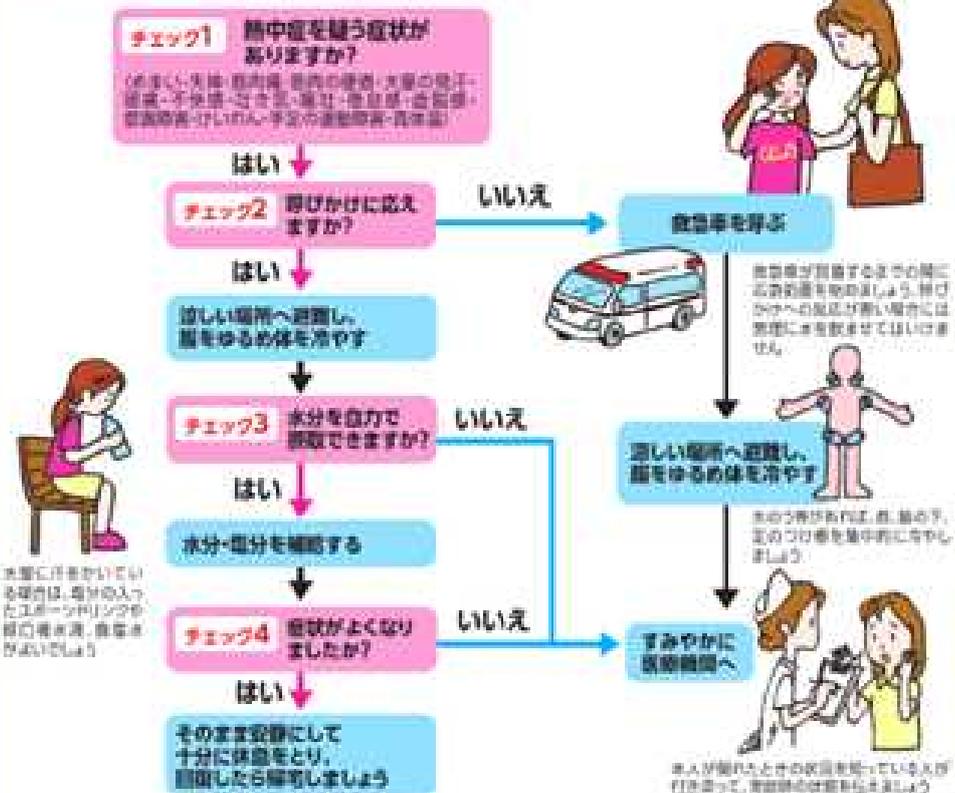
## ～避難所偏～



- ・車中泊では、寝るときにエンジンをつけっぱなしにしない
- ・日陰や風通しのよい場所に駐車する
- ・作業は2人以上で行う
- ・のどが渴いていなくても定期的に水分・塩分・休憩をとる

# 熱中症の応急処置

もし、あなたやまわりの人が熱中症になってしまったら——  
落ち着いて、状況を確認してから対応しましょう。最初の対応が大切です。



## 体温を効果的に下げるための方法の例

- ・上着を脱がせ、服をゆるめて風通しを良くする。
- ・皮膚に濡らしたタオルやハンカチをあて、うちわや扇風機であおぐ。
- ・服の上から少しずつ冷やした水をかける。
- ・氷のうや冷えたペットボトルなどを、首、脇の下、足のつけ根にあてて冷やす。

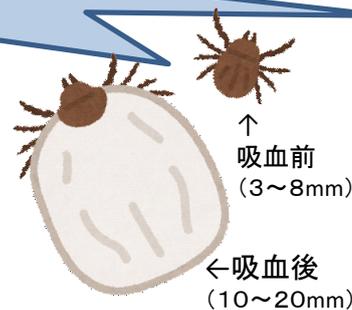
【熱中症警戒アラート<sup>TM</sup>】は環境省のLINE公式アカウントで確認することができます。

※熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境が予測される日に発出する情報。令和3年度から全国展開。

QRコード



## マダニにご用心ください！



### マダニって怖い...？

マダニはシカやイノシシ、野ウサギなどの野生動物が出没する環境に多く生息しています。さらに、民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などにも生息しています。病原体（細菌やウイルスなど）を保有するダニに刺されると病気を発症（ダニ媒介感染症）してしまいます。マダニに咬まれてから6日～14日で症状が出ます。マダニの持つウイルスによって疾患名が異なりますが、西日本に多いSFTS（重症熱性血小板減少症候群）は5月から8月に多く、致死率は10～30%程です。

### どんな症状がでるの？～SFTSの場合～

- ①発熱・倦怠感
- ②腹痛・嘔吐・下痢
- ③出血しやすい(あざ, 下血など)
- ④リンパ節が腫れる(首, 脇, 脚の付け根など)
- ⑤筋肉痛・けいれん



### もしも咬まれてしまったら...？



#### 自分でマダニを除去してはいけません！

マダニの腹部を指でつまむと、マダニの体液成分が皮膚内に流入しやすくなり、ウイルスや細菌が侵入する可能性が高くなります。マダニは皮膚組織と固く接着し、吸血しているため、無理に引っ張ってしまうと皮膚内に口が残ってしまいます。

マダニに気づいたら早めに医療機関を受診し、除去してもらいましょう。

※もし、自分でとってしまった場合は、マダニは捨てず、保管しておきましょう。症状が出て医療機関を受診する際に持参しましょう。早期治療の手がかりになるかも知れません。



### マダニ媒介感染症を防ぐには？



#### ①肌の露出を控える

- ・シャツやジャケットはズボンに入れる
- ・ズボンの裾は靴の中へ入れる
- ・袖は手袋の中へ入れる
- ・帽子も着用する
- ・ハイネックまたはタオルを首に巻く



#### ②室内に持ち込まない

- ・上着や作業着などは外で脱ぐ
- ・入浴時にマダニが体に付着していないか確認する
- ・衣類に付着しているマダニはガムテープなどで取り除く
- ・マダニの忌避剤(虫よけ剤)を使用する





# 今年も あなたの血を狙って 奴らがやってくる!

～ダニ・蚊の襲来に備えよ～

草むらに入  
る時は  
注意しよう!

肌の露出を  
減らそう!

虫よけ剤を  
使おう!

ペットの  
虫よけも  
万全に!

**蚊やダニは病気を持っているものもあり、咬まれないことが大切です。**

【ダニが媒介する感染症】重症熱性血小板減少症候群(SFTS)・ダニ媒介脳炎・日本紅斑熱・つつが虫病・ライム病 など

【蚊が媒介する感染症】日本脳炎・デング熱・チクングニヤ熱・ジカウイルス感染症 など

## 蚊・ダニに咬まれないポイント

### 蚊・ダニ共通対策

- 肌の露出を少なくする
  - 長袖・長ズボンを着用する
  - 足を完全に覆う靴を履く(サンダルなどは避ける)
- 明るい色の服を着る
- 虫除け剤を使用する

### ダニ対策

- 帽子・手袋を着用し、首にタオルを巻くなど
  - シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中に入れる
- ※野外活動後は入浴し、ダニに咬まれていないか確認しましょう。特に、首、耳、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏などに注意しましょう。



蚊媒介感染症  
厚生労働省



ダニ媒介感染症  
厚生労働省



※各地域のダニ媒介感染症の状況については各自治体HPも参考にしてください。